

第2回 小美玉市議会報告会を開催!

「議会基本条例」に基づき、市民の負託に応えうる開かれた議会運営を目指して、8月上旬、市内3会場にて第2回目となる議会報告会を開催しました。

この報告会は、議会改革推進特別



8月2日 四季文化館（みの〜れ）にて

委員会が中心となり、資料作成等の準備から当日の会場設営まで、全議員が一丸となって取り組みました。当日は、前年の反省から配布資料だけではなく、パワーポイントを操作してスクリーンに拡大した資料を見ていただきながら説明を行いました。また今回は、議長を除く議員19名が3班に分かれ、昨年9月以降から今年6月定例会までの議案審査を含む各委員会報告と質疑応答、意見交換を行いました（議長は班とは別に全日出席しました）。

実施結果は、3日間で85人のご参加をいただき、限られた時間ではありましたが、さまざまなご意見や要望をいただくことができました。

これらについては、早速9月定例会の所管委員会で調査・審議を行い、執行部に伝えるべきことは伝えました。

紙面の関係上、主な質疑内容等の掲載となりますが、詳細については、市議会ホームページに掲載

しましたので、ぜひご覧ください。

《第1班》 美野里会場

〔開催日〕 平成28年8月2日（火）

〔会場〕 四季文化館（みの〜れ）

〔参加者〕 36名

〔主な意見・要望等〕

Q. 空家対策に取り組んで欲しい。

↓A. 空家等対策計画を策定し、空き家の調査を行いデータベース化するのとともに、優良空き家については空き家バンクの制度化を図り移住・定住を促進します。

Q. 歩道がない通学路の安全を確保して欲しい。特に堅倉地区から北側がない。↓A. 関係機関からなる「小美玉市通学路安全対策会議」を設置し、通学路の安全確保に取り組んでいます。その一つに、通学路危険箇所合同点検を実施しながら道路管理者等に対し、計画的な取組の中で歩道の早期設置について働きかけているところです。堅倉地内からの県道部分の歩道整備についても県へ要望していきます。

Q. 議員報酬を上げた理由は。↓

A. 前期の議員定数・報酬等調査特別委員会で定数と報酬について4年をかけた調査した結果、民意を吸い上げるのに適正な数を20名としました。また、地方議員は職を持っていて余裕がある人しかねない、志がある若者が手を挙げられないのが現実であることから議員報酬を上げることが市に要望しました。そして、市の特別職報酬等審議会の答申を3月議会で承認しました。

Q. 地域では解決できない課題を市で押さえて欲しい。議会から市に対し解決の方向性や手法を追究して欲しい。↓A. 行政区に係る課題や要望は、行政区長から各担当課へお寄せいただき、各担当課で調査研究し優先順位を決め着手する流れとなっております。精査して、所管がない相談事であっても横断的に調整するよう要望していきます。

Q. 7月臨時会のサテライト小美玉の建設反対の意見書提出を踏まえ、議員提案で法律より条件を厳しくする条例を作って欲しい。↓A. 場外車券場の設置等を規定する自転車競技法の制定趣旨上、条例で法律より要件を厳しくすることは困難です。

《第2班》 小川会場

〔開催日〕 平成28年8月3日

〔会場〕 小川文化センター（アピオス）

〔参加者〕 25名

〔主な意見・要望等〕

Q. そ・ら・ら の芝生管理を早急にして欲しい。↓**A.** 芝の状況を監視しながら管理清掃をし、館内に芝が入らないよう対応します。

Q. 借地で利用しない公園は返し、使っている公園に予算を回すべき。公園の遊具の管理を徹底して欲しい。↓**A.** 利用頻度の少ない公園は鋭意返還の方向で検討していますが所在する地区からは残して欲しいという要望もあり、今後、必要に応じ返還に向けての交渉を行います。また、市で管理する都市公園、運動公園等の遊具は、職員による巡回点検や専門業者委託による点検を行い管理しています。また、経年劣化の進行度合いにより、改築、修繕、撤去を検討していきます。

Q. 小美玉市は酪農・養鶏が盛んなことから環境改善の問題が出る。バイオマスガスプラント整備を進めて欲しい。↓**A.** 本市は畜産系バイオマス資源が豊富です。今後、農業者の意向調査、対象資源、エネルギー

ギー利用方法、事業採算性など幅広い検討が必要であることから本市に最も適した手法を模索していきま

Q. 自衛隊機の騒音時間帯を改善する余地がある。基地へ申し入れをして欲しい。↓**A.** 自衛隊機による騒音は周辺住民に多大な影響を与えており、騒音軽減は長年の願いです。騒音については、毎年百里基地へ申し入れを行っています。今年も8月4日に市長、議長、百里基地・茨城空港対策特別委員会において申し入れを行いました。一方、百里基地では昨年同様、8月の限定期間ですが昼12時から13時の時間帯で飛行自粛を実施しています。早朝、夜間飛行の騒音に対しては、引き続き申し入れを行っていきます。

Q. 市総合戦略「ダイヤモンドシティ・プロジェクト」で、農業施策についてどのような考えをもっているか。↓**A.** 新規就農者確保のため、関係機関が連携支援すること、また、新たなビジネスを創出する6次産業化を支援するとともに農業経営支援、就農支援、耕作放棄地の解消などの農業振興策を継続的に進めていきます。

Q. 議会のインターネット動画配信を早急に実施して欲しい。↓**A.** 早急に実現できるように市に要望しています。



8月3日 小川文化センター（アピオス）にて

《第3班》 玉里会場

〔開催日〕 平成28年8月4日（木）

〔会場〕 生涯学習センター（コスモス）

〔参加者〕 24名

〔主な意見・要望等〕

Q. LEDの器具交換は市の負担

で行うのか。行政区での負担が発生すると常会の承認を得なくてはならない。LED更新後の行政区負担の具体的な数字が出れば、区から常会に説明しやすい。↓**A.** LED更新後は、器具交換になるため、費用は市が負担し、行政区の負担は電気料金のみとなります。電気料金は従来約半分になると考えられます。

Q. 霞台ゴミ処理場の進捗状況は↓**A.** 平成28年度は平成27年度策定した基本構想をもとに、新処理場の基本計画等について学識経験者等からなる有識者委員会で施設の基本仕様や環境基準等について協議しています。また、新施設整備に伴う測量地質など所要の事前調査を行っています。これらの内容については、秋以降、地元及び管内住民への事業説明会を予定しているほか、広報紙やウェブサイトを通じて情報提供や周知啓発に努めていきます。

Q. 平成28年度教育費予算が4億1400万円の前年度減。その理由と中身。↓**A.** 平成27年度旧小川高校の公有財産購入や美野里地区幼稚園4園の耐震補強工事が完了したことが予算減額の主な要因です。

Q. 下水道事業の進捗が見えてこない、予算が前年度より減っているが。↓A. 生活排水ベストプランに基づき、全体計画の見直しを踏まえ、事業計画の変更を通して順次進める予定です。

Q. 議会改革での改善点は。改革度ランキング県内4位になった理由は。↓A. 議会基本条例に基づき、議員間の自由討議や請願・陳情者からの意見陳述を出来るようにしたこと、議員個人の賛否の公開、答弁側に反問権を付与したことなどが評価され早稲田大学マニフェスト研究所の議会改革度ランキングで県内4位になりました。

Q. 議会改革はどれくらいできているか。また、費用弁償とは政務活動費のことか。↓A. 全25項目中、早期に取り組むべき重要11項目のうち、現在、9項目が完了しています。また、小美玉市議会に政務活動費はありません。

Q. 今年度、議会全体としての最重要課題として何に取り組んで行くのか。↓A. 議会基本条例に基づき、議会機能の強化等、議会改革を推進します。議員の責務を果たし市民に信頼される議会体制を作ってま

いります。



8月4日 生涯学習センター（コスモス）にて

※ 各会場で出されましたご意見・要望については、各委員会できりまとめておりますので、議会事務局までお問い合わせください。☎ 48-111111（内線1301・1302）

平成28年第2回定例会（6・9）

■議案に対する主な質疑

●「議案49号 小美玉市空家等対策協議会条例の制定について」（小川議員）

平成28年第3回定例会

（9・12）

■議案に対する質疑

●「議案58号 小美玉市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正をする条例」（福島議員）

●「議案61号 小美玉市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例」（福島議員）

●「議案62号平成28年度一般会計補正予算（第2号）」（谷仲議員、福島議員）

●「議案80号 霞台厚生施設組合規約の変更」（福島議員）

■討論

■「反対討論」

●「議案第62号 平成28年度一般会計補正予算」（福島議員）

①塵芥処理施設費の一部事務組合負担金については、付属施設の白雲荘解体費が含まれ、白雲荘が今後どのようなになるのか十分な説明がなされていない。まずはごみ減量化を訴え、議論すべき。

②20年しかたっていない霞台ごみ処理場をなぜ延命化処置をしないのか。

③住民に対しての説明が不十分のまま建設することに反対。よって広域ごみ処理施設建設負担金支出に反対。

●「議案第70号 平成27年度一般会計歳入歳出決算認定」（福島議員）

62号と同様の理由。

●「議案第80号 霞台厚生施設組合規約の変更」（福島議員）

建設ありきのもと進められている。多額の費用を要する事業等に対し、十分な説明や話し合いが行われることを切に希望し、反対。

